

～ロジスティクス・プロフェッショナルへの第一歩～
第85期ロジスティクス基礎講座

物流・ロジスティクスの基礎を6日間で体系的に学ぶ

後援申請予定：経済産業省・国土交通省

オンライン開催

【第85期ロジスティクス基礎講座】

- 開催日程：2022年6月21日(火)－22日(水)
7月 5日(火)－ 6日(水)
7月21日(木)－22日(金)

○受講対象：

- 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員、新任担当者の方
- 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

オンライン開催の特色

- オンラインでの開催により、場所を問わずご受講いただけます。
- オンラインによるリアルタイム(ライブ)での講義となります。投票やチャット等の機能を使い、臨場感ある講義を行います。
- テキストは事前に郵送にてお届けし、お手元にテキストを控えながらご受講いただけます。

※ビデオ会議ツール「Zoom」を利用した講義となります。ご受講に際しては適切な通信環境の確保、デバイスの準備、アプリケーションのインストール等が必要になります。詳細は申込書をご覧ください。

2022年度ロジスティクス基礎講座開催日程

開催期	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
第85期 (オンライン)	2022年6月21日(火)	2022年6月22日(水)	2022年7月5日(火)	2022年7月6日(水)	2022年7月21日(木)	2022年7月22日(金)
第86期 (オンライン)	2022年10月25日(火)	2022年10月26日(水)	2022年11月10日(木)	2022年11月11日(金)	2022年11月24日(木)	2022年11月25日(金)

※2022年度は第85期・第86期の2回の開催を予定しております。
※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

「ロジスティクス基礎講座」 受講のおすすめ

国内の物流・ロジスティクスを取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化による労働力不足、EC市場の拡大など大きく変化しています。そのような中、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、改めて物流・ロジスティクスの重要性が認識されることとなりました。

需要と供給の同期化による機会損失や過剰在庫の削減、物資移動の最小化といったコスト低減のみならず、企業における人、モノ、金、情報の流れの最適化を実現する戦略的マネジメントであるロジスティクスは、企業経営における重要課題として、位置付けられています。そして、全体最適に資するロジスティクスの構築とその高度化を実践するためには、経営幹部から若手社員まであらゆる業務に携わる全ての従業員がロジスティクスの目的や機能を理解したうえで、業務に取り組む必要があります。

当協会では、主に新入社員の方や新任担当者の方を対象とした「ロジスティクス基礎講座」を開講しております。本講座は、ロジスティクスの概要からオペレーションの各機能、さらには物流改善、在庫管理や物流コストまで、ロジスティクスの基本を体系的かつ効率的に学ぶカリキュラムとなっており、ロジスティクスの概念を理解し、全体最適化に向けたマネジメントに必要な基礎知識を短期間で習得することをねらいとしております。

ロジスティクスに関わる物流・調達・生産・営業部門等の新入社員や新任担当者の方、ロジスティクスの基礎について改めて学習を志す方からの積極的なご参加をお待ちしております。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
能力開発委員会
ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員長
学習院大学
経済学部 経営学科 教授

河合 亜矢子



受講対象

- ◆物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方
- ◆上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

本講座の特色

- ◆物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を体系的に学習するための講座です。
- ◆受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、課題レポートを2回提出いただきます。
- ◆2回目のレポートは講師のコメントを添えて、後日フィードバックいたします。

	提出時期	文字数	テーマ
1回目	講義開始前	400字	あなたは本講座の受講を通して、何を学びたいと思いますか。
2回目	講義終了後	800～1200字	あなたの職場における(企業における)ロジスティクスの問題点は何だと思いますか。また、その問題点について、あなたならどのような解決策を提案しますか。

- ◆本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。

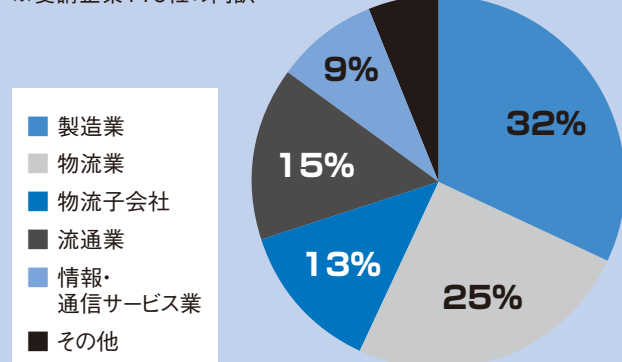
※修了規程：講座を全日（6日間）出席し、計2回の課題レポートを提出すること。

2021年度 受講者データ

【受講者数258名】

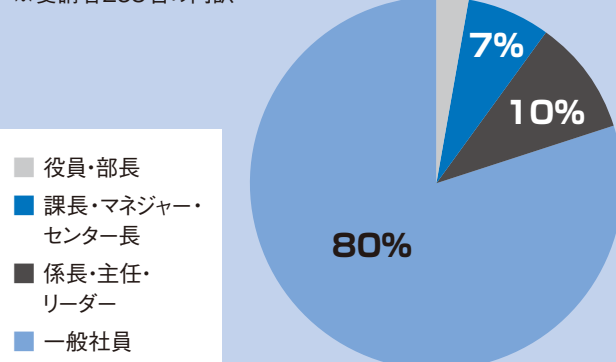
業種構成

※受講企業110社の内訳



役職構成

※受講者258名の内訳



第85期ロジスティクス基礎講座 カリキュラム

日程・時間		講義内容		講師
6月21日 (火)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	1	I. ロジスティクス概論(1) ロジスティクスの概要/ 物流・ロジスティクスを取り巻く環境/物流の機能/ 企業価値とロジスティクスの関係	魚住 和宏 氏 SCMソリューションデザイン 代表
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	2	ロジスティクス概論(2) ロジスティクスにおける顧客満足/ 物流ネットワークと拠点の役割/在庫管理の考え方/ デザイン・フォー・ロジスティクスの考え方/ サードパーティロジスティクスの役割	
6月22日 (水)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	3	II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能 ①輸配送(1) 輸配送の定義/輸配送の役割/物流環境の変化と輸送/ 輸送機関の種類/各種輸送機関の特性/ 各種輸送機関の運賃料金/ 主な輸送機関の積載能力・容積の比較/ 輸配送システム構築のポイント	興村 徹 氏 JILSアドバイザー
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	4	②輸配送(2) ユニットロードシステム/輸配送における環境対応/ 輸配送をめぐる最近の動向	
7月5日 (火)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:30	5	③包装 包装の定義/包装の役割/包装の種類/包装の適正化/ 包装開発の基本的な流れ/包装における環境対応	北山 義弘 氏 (同)北山コンサルティング 代表
	13:30～16:00 ※16:05まで 事務局からのご連絡	6	④保管 保管の定義/保管の役割/物流センターの役割/ 保管の基本/庫内レイアウト設計の基本/流通加工の機能/ 保管コストの考え方	
7月6日 (水)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	7	⑤荷役 荷役の定義/荷役の役割/物流センターにおける荷役作業/ マテハン機器の種類/ロケーション管理方法/ ピッキングシステムの種類/ピッキングの方式/ 最新マテハン機器の動向	宍戸 哲哉 氏 サード・アイ 代表
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	8	⑥情報システム 情報システムとは/情報システムの基礎技術/ 物流管理システム(LMS)の機能/ 倉庫管理システム(WMS)の機能/ 輸配送管理システム(TMS)の機能/最新ICT技術の動向	
7月21日 (木)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	9	III. 在庫管理 在庫管理の定義/在庫と企業価値の関係/在庫管理方式/ 在庫変動の要素/適正在庫算出の考え方/在庫適正化の方策	河合 亜矢子 氏 学習院大学 経済学部 経営学科 教授
	13:00～16:00 ※16:05まで 事務局からのご連絡	10	IV. 物流コスト 物流コストの定義/トータル物流コストの考え方/ 物流コスト把握の効果/物流コストの計算方法	
7月22日 (金)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:30	11	V. 物流改善 物流改善の定義/改善活動の効果/物流改善の対象領域/ 物流改善の基本的な流れ/物流改善の進め方/ 物流改善の技法と改善例	飯田 正幸 氏 JILSアドバイザー
	13:30～15:00 ※15:05まで 事務局からのご連絡	12	VI. ロジスティクスの課題と展望 ロジスティクスを取り巻く課題/ これからのロジスティクスの展望	

※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

受講者の声

「これまでは専門的な知識等については自分たちで調べるなど我流の部分がありましたが、この講座ではロジスティクス全体が網羅されており大変勉強になりました。」
(製造業 物流部門所属)

「ロジスティクスの分野におけるコストや考え方を細かいところまで学べたことがとても勉強になりました。今まで物流という視点で物事を動かしていましたが、生産から顧客にモノが届くまでを意識していきたいです。」
(物流子会社 現業部門所属)

「物流・ロジスティクス関連の業界に入って長くないこともあり、この講座で学べたことは大変大きな力になります。」
(物流業 ロジスティクス部門所属)

「テキストの情報量が多く、たくさんの情報を一気に学べる良い機会だと思いました。物流・ロジスティクスにおける課題を知ることができて興味深かったです。」
(情報・通信サービス業 営業部門所属)

2021年度 受講企業

※社名50音順 原則として受講時の社名を記載しています。

(株)アステム	(株)しまのや	日本出版販売(株)
(株)アダストリア	ジャトコ(株)	日本生活協同組合連合会
(株)アダストリア・ロジスティクス	十和運送(株)	日本製紙物流(株)
(株)あらた	(株)昭和	日本電気(株)
E Mデバイス(株)	昭和産業(株)	日本郵便(株)
(株)イシダ	鈴与シンワ物流(株)	沼尻産業(株)
伊藤忠食品(株)	住友重機械搬送システム(株)	はごろもフーズ(株)
伊藤ハム米久ホールディングス(株)	住友商事マシネックス(株)	(株)バスコ
(株)インフォセンス	西濃シェンカー(株)	(株)ビーアンドエス・コーポレーション
HRソリューションズ(株)	(株)セブン-イレブン・ジャパン	(株)ヒガシトウエンティワン
江崎グリコ(株)	全国農業協同組合連合会	(株)日立ハイテクフィールドディング
(株)NTTロジスコサービス	総武物流(株)	(株)日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
(株)オカムラ	ダイシン物流(株)	(株)ファミリーマート
Ossur Japan合同会社	太陽化学(株)	福松屋運送(株)
(株)オフィスエフエイ・コム	タカラベルモント(株)	富士通(株)
(株)カナエ	つばさロジスティクス(株)	富士フィルムロジスティックス(株)
キーコーヒー(株)	(株)ティー・エル・エス	富士物流(株)
(株)クレハ	ティーライフ(株)	芙蓉総合リース(株)
京葉流通倉庫(株)	帝人物流(株)	ブラザーインターナショナル(株)
(株)ゲオ	(株)ティスコ運輸	ブラザーロジテック(株)
晃永運輸(株)	鉄道情報システム(株)	(株)ホームロジスティクス (ニトリグループ)
(株)ゴーリキ	テルモ(株)	ボールツリー(株)
(株)後藤回漕店	東京新宿ベジフル(株)	(株)マキシンコー
コニカミノルタ(株)	東芝デジタルソリューションズ(株)	マルサンアイ(株)
(株)コマースロボティクス	東洋運輸(株)	三菱ガス化学(株)
コマツ物流(株)	(株)トーカン	三菱商事ライフサイエンス(株)
(株)サードウェーブソリューションズ	トーヨーカネツ(株)	三菱電機(株)
サカタウエアハウス(株)	トッパン・フォームズ・サービス(株)	ミヨシ油脂(株)
サクサブロアシスト(株)	中川運輸(株)	ヤマハ(株)
札幌自動車運輸(株)	(株)中村屋	(株)郵便局物販サービス
(株)サトー	南総通運(株)	(株)ユニエックスNCT
三栄工業(株)	西日本鉄道(株)	よつ葉物流(株)
三桜工業(株)	(株)ニチレイフーズ	(株)ライナロジクス
山九(株)	日清フーズ(株)	ロジ・ソリューション(株)
GEヘルスケア・ジャパン(株)	日通NECロジスティクス(株)	ワコール流通(株)
J S R(株)	日販物流サービス(株)	ワム・システム・デザイン(株)
ジェイティ物流(株)	日本通運(株)	

ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員一覧

(2022年3月現在。順不同、敬称略)

委員長	河合亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
副委員長	脇田 哲也	SBS東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与
委員	魚住 和宏	SCMソリューションデザイン 代表
委員	福山 徹	花王(株) SCM部門 ロジスティクスセンター 渉外担当
委員	北山 義弘	(同)北山コンサルティング 代表
委員	穴戸 哲哉	サード・アイ 代表
委員	奥山 淑英	サンコーインダストリー(株) 代表取締役社長
委員	荒木 協和	サンスター(株) コーポレートグループ ロジスティクス担当 理事
委員	飯田 正幸	JILSアドバイザー
委員	興村 徹	JILSアドバイザー
委員	能見 宏樹	テルモ(株) SCM推進室長
委員	田阪 幹雄	(株)NX総合研究所 リサーチフェロー
委員	内田明美子	(株)湯浅コンサルティング コンサルタント
委員	植村 邦夫	(株)ユーロジブランニング 代表取締役

物流技術管理士補資格認定コースのご紹介

物流技術管理士資格認定コースは、ロジスティクスの基礎知識を既に習得された方を対象にしたグループ演習を中心とする資格認定コースです。本コースは、企業事例をベースとしたグループ演習に特化しており、実践力を2日間で集中的に身につけることができます。

【開催日程】第1回 2022年10月 4日(火)－ 5日(水)

第2回 2023年 2月15日(水)－16日(木)

【開催形式】オンライン

※詳細は当協会ホームページよりご確認ください。

〈受講料:75,900円(税込/1名)〉

◆実践的なグループディスカッション・演習を中心としたプログラムです。

◆様々な知識・知見・経験をもったメンバーとのグループディスカッション・演習を通して、新たな視点や取り組みのヒントを得ることができます。

◆「ロジスティクス基礎講座」で学んだことを整理・再確認していただくために、受講前に課題レポートをご提出いただきます。

◆本資格認定コースを修了*1された方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「物流技術管理士補」*2の資格を授与いたします。

*1 受講前に課題レポート提出および本資格認定コースへの2日間の出席が必要です。

*2 「物流技術管理士補」資格取得者を対象に、「物流技術管理士資格認定講座」および「国際物流管理士資格認定講座」の受講料を優遇させていただきます。

ロジスティクス基礎講座・物流技術管理士補資格認定コース 受講の流れ

講座名	物流技術管理士補資格認定コース	開催日数	2日間
受講対象	- 産業能率大学が実施する通信教育「物流の仕事がわかるコース」および「物流技術の基本と改善(旧・物流技術を極める)コース」両コースの修了者 - 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者 - 流通経済大学流通情報学部ならびに大学院物流情報学研究科における所定単位取得者 - 中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方 - 日本ロジスティクスシステム協会が実施する「ロジスティクス基礎講座」修了者	受講料	75,900円(税込/1名)
		プログラム構成	講義/グループ演習/課題レポート

講座名	ロジスティクス基礎講座	受講料	JILS会員 : 88,000円(税込/1名) JILS会員外 : 104,500円(税込/1名)
受講対象	- 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方 - 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方	プログラム構成	講義/課題レポート
開催日数	6日間(オンライン開催)		

ロジスティクス基礎講座

講座の受講
(6日間)

講座の修了(※)
修了証書の授与

※修了要件
・6日間の講義出席
・課題レポート提出

物流技術管理士補資格認定コース

資格認定コースの
受講(2日間)

資格認定コース修了(※)
物流技術管理士補
資格を認定

※修了要件
・2日間の講義出席
・課題レポート提出

